

工程トラブルを防ぐ

ヒューマンエラー防止対策コース

平成29年度版

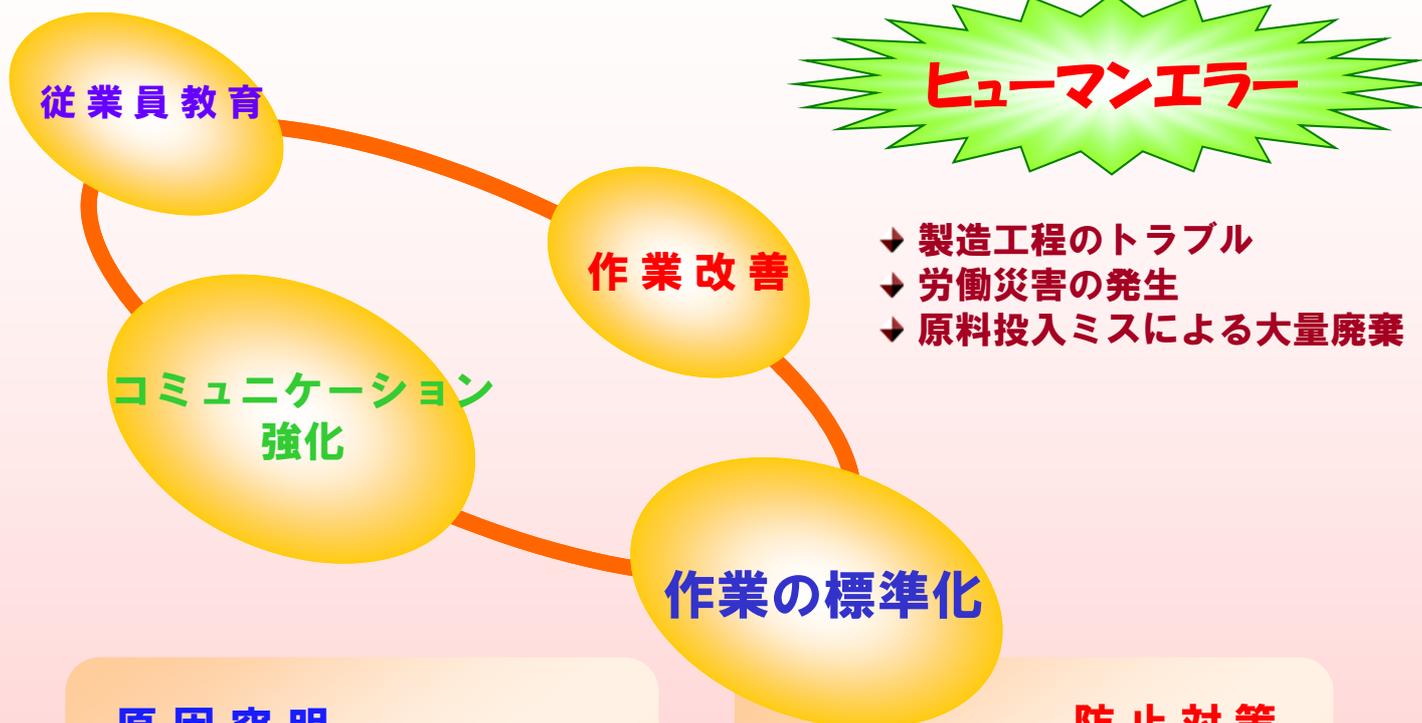
受講証発行

「気をつけていても」なかなか減らないヒューマンエラーをいかに防ぐか！

製品回収を伴う食品事故や製造現場で発生した重大な労災事故などの原因としてヒューマンエラーが大きな要因のひとつとなっています。

気をつけていてもなかなか減らない現場でのヒューマンエラーをどのように防止すればよいか、グループ討議や演習、また事例紹介により学んでいきます。

◆コースの概要とポイント



原因究明

ヒューマンエラーはなぜ起こるのか？問題を解決するためにはまずその原因をしっかりと把握することが重要です。

講義やグループ演習を通じて原因の究明方法を学びます。

防止対策

ヒューマンエラーの発生を可能な限り防止するためには、作業の改善、教育、コミュニケーション強化など多角的な対策を講じる必要があります。

製造現場で活用できる取り組みを演習や事例紹介で学びます。



一般財団法人 日本食品検査
Japan Food Inspection Corporation

JFIC

カリキュラム

【時間】 9:30 ~ 17:00

講習名	主な内容	方法
ヒューマンエラーに起因する事故の現状	はじめに、ヒューマンエラーが原因で商品回収が発生している多発している状況をお話しします。	講義
ヒューマンエラーはなぜ起きるのか (原因の究明)	ヒューマンエラーの真の原因をどのようにして見つけ出すかについて学んだ後、ヒューマンエラーがなぜ起きるのかについて、事故発生をシミュレーションした事例を題材にグループで考えてみます。 グループ討議で出された原因を整理して、原因の背景にある原因を見つけ出します。	講義 グループ討議 発表
ヒューマンエラーの防止対策 (防止対策の事例と演習)	ヒューマンエラーの防止対策について、製造現場で活用できる取り組みを演習や事例紹介で学びます。 ① 作業の標準化 仕事のバラツキによるミスをなくすために、適切な作業手順を標準化する方法について学びます。 ② 効果的な従業員教育 教育訓練が十分でないため起きるヒューマンエラーを防止するため、従業員教育を効果的に行うためのOJT教育や作業訓練の方法について演習で学びます。 ③ 「ムリ、ムラ、ムダな作業」の改善 作業ミスの原因となる「ムリ、ムラ、ムダな作業」を改善するための取り組みとして作業分析やラインバランスの調査方法について事例を基に演習で学びます。 ④ 内部コミュニケーション 情報を迅速・正確に伝えるための効果的な内部コミュニケーションの方法について学びます	講義 事例紹介 演習
おさらい	理解度を深めるため、全体を振り返っておさらいをします。	講義

セミナー受講料

18,000円 (昼食・テキスト代を含む、税別)

◆お問い合わせ◆

(申込み受付及び状況、実施日・会場等)

大阪会場 関西事業所 TEL: 078-302-1083

福岡会場 福岡検査所 TEL: 092-451-7259

(講義内容等)

本部 事業開発 TEL: 03-6436-8773

※詳しくは、ホームページをご覧ください。(Webでも申し込みができます。)

<http://www.jffic.or.jp>



一般財団法人 日本食品検査
Japan Food Inspection Corporation

